

令和8年度 学校評価報告書 (目標設定) 実施結果

視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月 日実施)	総合評価 (3月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>①グローバル社会における多様な価値観を理解し、協働して社会で活躍できる人材を育成する。</p> <p>②学校行事や生徒会活動を通じて、主体的に課題に取り組む姿勢を養う。</p>	<p>①外国語教育の充実、姉妹校等を含む国際交流、海外修学旅行等、国際社会と交流する力について体験をもとに育成する。</p> <p>①校内のICT機器、電子黒板等を利用し、生徒が主体的に学ぶ姿勢を養う授業を実践する。継続して学習アプリを活用し、個別最適な学習の主体的な取組みにつなげる。</p> <p>①外国語教育の充実、姉妹校等を含む国際交流、海外修学旅行等、国際社会と交流する力を育成する。</p> <p>②体育祭及び氷焱祭の時期が、適切かどうかを追検証する。</p> <p>②生徒が活発に委員会活動や行事に取り組み、自らの民主主義意識やコミュニケーション能力を育成させる場を設ける。</p>	<p>①交流の機会をつくり、多くの生徒に体験させつつ、深いコミュニケーションを目指す。「発信する」活動を積極的に取り入れ、プレゼンテーションコンテスト等を通じてその能力を育む。</p> <p>①教科や学年を超えて、ICT機器や電子黒板の効果的な使用方法を共有し、生徒の興味・関心を引き出す授業を実践する。ICT機器を活用し生徒間や教員との相互的な活動をもとに学びを深める。</p> <p>①学習アプリを活用し、個別最適な学習活動を行う。</p> <p>①オンライン交流で多くの生徒への交流機会を増やし、直接交流にてより深いコミュニケーションを目指す。</p> <p>①授業で「話す」活動を取り入れ、プレゼンテーションコンテスト等を通じて発信する能力を育む。</p> <p>②教職員の多くが、学校行事、部活動等について本校のHPの更新を積極的に行う。</p> <p>②各行事の準備等や後片付けが円滑に行われるよう工夫する。</p> <p>②生徒同士がコミュニケーションをとりながら、生徒主導で行事等を計画・実施できるよう、教員の支援体制を構築する。</p>	<p>①交流への参加機会の充実を参加した生徒数、交流時間等をもとに検証する。</p> <p>①国際交流に参加した生徒たちの達成感や充実感をもとに良い交流が行われたか検証する。</p> <p>①ICT機器や電子黒板の効果的な使用方法を共有し、生徒が主体的に学ぶことができたか。(授業評価の推移)</p> <p>①授業改善につながるような学習アプリ等の研修を実施できたか。</p> <p>①交流への参加機会の充実を参加した生徒数、交流時間をもとに検証する。</p> <p>①国際交流に参加した生徒たちの達成感や充実感をもとに良い交流が行われたか検証する。</p> <p>①プレゼンテーションコンテストを通して、英語で発信する力の向上を感じることや、グローバルな視点で問題解決の意識を養うことができたか。</p> <p>②令和7年度に比べて、HPの更新が進んだか。</p> <p>②各行事の進捗効率が上がった、また、生徒の主体性が活かされたか。各方面から振り返る。</p> <p>②生徒自身でも行事・委員会活動の振り返りを行い、自分たち主体で進められたかを検証させる。</p>					
2 (幼児・児童・) 生徒指導・支援	<p>①生徒一人ひとりに寄り添い、教育相談体制を充実させる。</p> <p>②部活動や行事を通して連帯感や責任感の涵養を図る。</p>	<p>①かながわこどもサポートドックと教育相談アンケートの包括的な実施を目指す。</p> <p>①DSCとSSWと関係職員、必要に応じて外部の関係機関との連携が円滑に行われるよう工夫する。</p> <p>②生徒同士が切磋琢磨できかつ堅実な人間関係を構築できるよう指導</p>	<p>①かながわこどもサポートドックの追加項目の工夫と、教育相談アンケートの実施により、迅速に潜在的ないじめや課題の早期発見・対応を行う。</p> <p>①定例のコア会議を活用して生徒の課題の共有と早期発見、柔軟な対応策の考案をする。</p> <p>②生徒一人ひとりがチームで目標達成を目指し、</p>	<p>①かながわこどもサポートドックと教育相談アンケートによって発見された気づきを生徒支援に活用できたか。</p> <p>①コア会議が生徒の抱える問題の気づきや、家庭の抱える課題の掌握に役立ったか。</p> <p>①生徒が抱える課題について、多方面から検討し、多くの方策が検討された</p>					

視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月 日実施)	総合評価 (3月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
		方法を考察し工夫する。 ②部活動の活動状況や大会の結果等を多くの生徒が確認できる状況を作り、本校が一丸となれる枠組みを形成する。また、救急救命講習会等を通して生徒会活動を行い、安全に活動が取り組める環境をと人間関係を育む。	①総合的探究の時間等を利用して、生徒の興味のある分野だけでなく、幅広い職業の分野から情報収集させ、進路の方向性を確立させる。 ②定期試験前の学習計画、目標の設定を行い、その結果の振り返りを充実させる。	①総合的探究の時間を通して、生徒自身が自分の将来について主体的に行動できたか。(インターシップ・オープンキャンパスの参加) ②一部のクラスだけでなく、学年全体が共通認識として、指導が行えたか。					
3	進路指導・支援	①自己と集団や社会との関わり、職業観、倫理観、使命感等を育成する。 ②自他の幸福を追求し、自立し、たくましく生きるための基礎力を身に付けさせる。	①生徒自身が自ら自分の強み・弱みを言語化できる力を育成し、職業・学問の分野の情報収集を促し、可能性の範囲を広げる。 ②学習の計画、実行、振り返りのサイクルを充実させ、基礎学力を充実させる。	①総合的探究の時間を通して、生徒自身が自分の将来について主体的に行動できたか。(インターシップ・オープンキャンパスの参加) ②一部のクラスだけでなく、学年全体が共通認識として、指導が行えたか。					
4	地域等との協働	①家庭、地域の教育力を活用し 地域との交流活動を通し、保護者や地域に信頼される学校づくりをめざす。	①PTA 役員、各委員会の委員と協力し、学習環境の改善を行う。 ②学校運営協議会委員との協働等により、様々な形の地域連携を模索する。	①花植え活動のボランティア呼びかけを行い、10名以上の参加があったか。 ②学校運営協議会・地域等の提案や意見等の情報を地域貢献に生かすことができたか。					
5	学校管理 学校運営	①安全で安心な学習環境の維持に努め、点検・改善に努める。 ②信頼かつ信用ある学校経営に努め、事故不祥事根絶に向け、強い決意をもって臨む。	①地域の防災訓練等に生徒が参加する環境を整える。 ②採点システムや成績処理システム等の活用により業務の効率化と情報の管理を確実にを行う。 ②職員の業務遂行の効率化と時間外労働の縮減、働き方改革を進める。	①地域の防災訓練に生徒が4名以上参加したか。 ②生徒情報の電子化が徹底され、確認作業の負担を軽減できたか。 ②AI 活用や DX 化の導入や検討を具体的に進められたか。 ②職員の時間外労働時間が45 時間/月を全員遵守できたか。また仕事のやりがいを向上させることができたか。					